

緑の担い手

林業 という仕事

株式会社 堀江林業

相澤 航

私が林業という仕事に就くきっかけとなったのは、地元の先輩からの誘いでした。元々機械が好きで、特に、現場での機械作業に魅力を感じていました。就業して早や三年が過ぎましたが、最初は、チェーンソーの使い方解らず、先輩方から指導を受けながら覚えてきました。

就職して間もなく、「緑の雇用」という研修があり、林業の仕事を始めるにあたって必要な資格や知識を修得できる制度に参加できたことは、自分にとって良い経験となりました。

この研修は、毎回研修場所や研修内容が異なるため、とても楽しく学ぶことができました。研修の中でも特に、伐倒技術に関する研修が難しく、一本一本立っている木は高さや太さが違うため、それぞれの立木に応じてクサビが必要だったりするので、自分で考え工夫しながら安全で

確実な方法を学びました。

今回で三年間の研修が修了しましたが、研修で学んだことを現場で生かすとともに、まだまだ未熟なので引き続き先輩方から指導を受け、日々少しでもスキルアップできるように頑張っていきたいと思っています。

現在は、主に伐倒や集材作業を行っていますが、山の仕事は多くの危険が潜んでいるため、ケガをしないよう安全な作業に心がけて、一人前の林業作業士として活躍できるように努力していきたいと考えています。

